

実用化事例

受託研究

支援先

株式会社宏機製作所

熱粘弾性加飾フィルム融着法を用いた『立体形状へのフィルム貼り付け』加工



図 1 金属調に加飾した製品
(自動車用ドアハンドル)

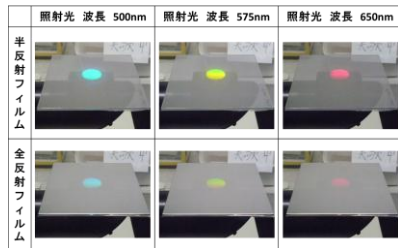


図 2 金属調表面と光の加飾事例

【開発の背景】

株式会社宏機製作所は、立体的な形状を持つ製品の表面に、加飾のためのフィルムを貼り付ける技術を開発しました。

貼り付けるフィルムにさまざまな機能性を持たせることで、図 1 のような金属調の表面に仕上げたり、図 2 のように金属調の外観に光透過性を持たせるなど、フィルムを使ったさまざまなパターンの加飾に取り組んでいます。

【支援内容】

当センターでは、株式会社宏機製作所からの受託研究を請けて、フィルムの熱的な特性や機械的特性に加えて、金属調フィルムの光透過性を評価する試験等を実施しました。

【開発した製品の紹介】

自動車用ドアハンドルでは、外装部品に必要な耐久性をクリアし、めっきに替わる環境負荷の少ない加飾方法として採用されました。他にも家電、医療機器等の分野で使用されています。

基礎となった事業

平成 29 年度 オンリーワン技術開発支援事業（受託研究）

現在の担当部門

素材開発部門

部 門 長

飯村 修志

TEL:0296-33-4154

主

任

谷萩 雄一郎